



茶の香だより

第22号

令和2年7月1日発行

発行元：武蔵村山市立第五中学校

学校運営協議会

編集：学習部



今年度のコミュニティ・スクール開始にあたって

武蔵村山市立第五中学校 校長 榎戸 千代子

今年度は、4月当初から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休業が続き、教育課程にも様々な中止や変更が生じています。6月より学校が再開され、少しずつ普通の学校生活に戻りつつあります。今後はコロナとともに「新しい生活様式」のもと、感染症拡大防止対策を継続し、教育活動を進めてまいります。

本校のコミュニティ・スクールは、例年学校運営協議会委員の皆様の御協力をいただき、「学習・生活・地域連携」の3つの部で、活発な活動をしていただいております。今年度は「3つの密」を避けるため、通常の活動ができないところもございますが、五中の生徒のために「チーム五中」として取り組んでまいります。保護者、地域の皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

学校・保護者・地域の方で

武蔵村山市立第五中学校 副校長 飯星 健司

この4月から隣の大南学園第四中学校から異動してきました副校長の飯星健司です。武蔵村山市に来て8年目になります。以前五中にいた田中副校長（現校長）や関屋副校長（現校長）から保護者や学校運営協議会の方、地域の方の協力はとてもすごいのできっと驚くよと言われ、楽しみにしてきました。

今年度、第五中学校は、創立四十周年を迎えました。PTAや学校運営協議会の方、地域の方の御支援のお陰で迎えられた四十周年と感謝いたします。これからも本校の学校教育に御理解・御支援いただきますようよろしくお願いいたします。

【令和2年度 武蔵村山市立第五中学校 学校運営協議会 新体制】

校長 榎戸 千代子 副校長 飯星 健司

	学習部	生活部	地域連携部
委員	●高橋圭子 安部朋子 玉井博子 水野光子 雨宮奈津子 村田 聖士先生 (武蔵村山高校)	●加園一茂 西川義則 堀内一弘 中川 宏	●堀上みち子 ◎荒幡善政 ○宮崎 保 矢田由紀子
先生	① 鈴木先生・加藤先生 ② 佐野先生・藤澤先生 ③ 長嶋先生	① 佐伯先生・白瀬先生 ② 有沼先生・中村先生 ③ 柴田先生	① 飛永先生・坪田先生 ② 浅田先生 ③ 西澤先生
事業内容	進路模擬面接事業 茶の香だより発行 (制服リサイクル事業)	防犯パトロール 芝刈り 校内美化事業	五中フェスティバル(中止) 職場体験事業

令和2年度学校運営協議会が始まり

学校運営協議会 会長 荒幡善政

この度、第五中学校学校運営協議会委員を市役所より委嘱を受け、また前年度西川会長の後を引き継ぎ、会長という大役を引き受けることとなりました。

五中コミュニティ・スクールは学習部、生活部、地域連携部と別れていて、活動内容は、高校受験模擬面接、夏休み学習補習、防犯パトロール、校庭芝生管理、五中フェスティバル講師探し、職場体験受け入れ先探し等、多岐にわたっています。

今年は残念ながらコロナ禍の影響で、すでに多くの活動が中止となってしまいました。

残り少ない活動となってしまいますが、部をまたぎ全委員の皆さんで、今年の活動を第五中学校とともに盛り上げていきたいと思っています。

委員の皆様、地域の皆様、生徒らの健全育成のため、生徒を中心として地域と連携した活動を展開していきたいと思っておりますので、引き続き御理解御協力を、また、御指導御鞭撻のほどをどうぞよろしくお願い申し上げます。

御挨拶

学校運営協議会 副会長 宮崎 保

今年度より、第五中学校学校運営協議会副会長をやらせていただくことになり、微力ながら、この運営協議会を盛り上げて、学習部、生活部、地域連携部の三部会のまとめ役として、荒幡会長を全力でサポートし円滑に事業が進められるよう頑張りたいと思います。

今後とも、地域の皆様、第五中学校教員の皆様、学校運営協議会の委員の皆様の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



御挨拶

生活部会長 加園 一茂

昨年度から引き続き生活部長に任命されました加園一茂と申します。本年度も宜しくお願い申し上げます。

本年度はコロナの影響で生活部の事業であります、五中校区防犯パトロール・本校校庭の芝刈り・校内美化事業(ペンキ塗り)、どれもできていない状況です。

我々だけでなく、五中校区の子供達に携わる各種団体も、様々な事業やイベントが中止となっています。

これまで築いてきた五中校区の強い絆や繋がりが希薄になってしまうことがとても心配です。いや、五中校区の絆や繋がりが、連携力はけっしてコロナなんかには負けたりしませんね。

今後の予定ですが、芝刈りは7月中旬から、防犯パトロールは9月中旬からスタート出来たらと思っています。特に防犯パトロールは、学校や子供達に関わる多くのボランティア団体、そして地域の力なくしては成り立ちません。

コロナが落ち着きましたら、五中校区の児童・生徒の安全の為に、引き続き御協力の程、宜しくお願い申し上げます。

五中と地域と

学習部会長 高橋 圭子

今年度、引き続き学習部の部会長の任を頂きました。微力ではございますが、新たな気持ちで、学習部一丸となり活動をしてまいりたいと思います。コロナ禍により、事業内容の変更等がありましたが、今年度学習部は、進路模擬面接の実施と茶の香だよりの発行をしていながら、更に充実した活動となりますよう、努めてまいります。制服リサイクル事業も引き続き継続をいたします。皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

五中と地域と

地域連携部会長 堀上みち子

この度地域連携部の部会長を務めさせて頂くこととなり身の引き締まる思いです。地域連携部は地域との橋渡しという大切な役を担っています。五中には五中フェスティバルという地域との繋がりが生かされた宝物の様な行事があり、また二年生の職場体験では実際の職場に受け入れて頂けるという素晴らしい学習があります。少しでもその繋がりの助力となればと願っています。どうかよろしくお願い申し上げます。

◆武蔵村山の昔話◆

今回は武蔵村山市の伝統工芸品の話です。

市内の小学校を卒業した皆さんは卒業証書入れに凜とした紺色の「村山大島紬」が使われている事は御存知だと思います。

この「村山大島紬」のおこりは江戸時代中期と言われております

諸説有りますが、文化文政の頃に木綿絨が作られ幕末には生産も増加して明治の末期までには村山絨の大生産地になりました。

昭和初期には現在の「村山大島紬」の技術が確立されました。

「村山大島紬」の技術は精巧かつ繊細な技術を用いられ伝統を忠実に守り、全ての過程が手作業で行われているそうです。

昭和3年に建築された武蔵村山市指定有形文化財である組合事務所が重厚な歴史を醸し出しています。見学に行かれた方も居ると思います。「村山大島紬」のHPには、このように表現して文章が

結ばれています。『着る人の心を織りなす』優雅な味わいが「村山大島紬」の魅力です。皆さんも長い歴史の伝統工芸品をもう一度眺めて見てください。

(村山織物協同組合HPより抜粋あり)